

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2023年1月20日

事業所名:こども支援センタースマイル(放デイ)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	法令に遵守したスペースの確保をしています。支援に合わせて、部屋を分けたりするなどの配慮をしています。	はい87% どちらともいえない3% いいえ3% わからない7% 少し狭い	見守りを徹底し、今後使わない机を片付けたりするなど集中しやすい空間作りや活動しやすいスペースの確保を目指していきます。一日の利用人数は10人定員です。
	2 職員の適切な配置	法令で必要とされる配置をしています。	はい74% どちらともいえない3% わからない23% 専門性は個人によると思う	全職員が子どもに対する支援を統一するようにし、子ども達の支援に必要な人員配置を今後も引き続き確保していきます。職員は10名の定員に対して必ず5名配置するようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	建物外にはスロープがあり、事業所内も段差のない構造となっています。一日の流れや伝えたい内容については、ホワイトボードを活用し、視覚で分かりやすくしています。	はい77% どちらともいえない3% わからない20%	今後も安全面に配慮し、視覚を意識したわかりやすい伝え方を続けていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用児童の通所前と降所後に清掃及び消毒を行っています。活動時も温度管理やこまめな換気を行うようにしています。	はい94% どちらともいえない3% わからない3%	今後も引き続き毎日の清掃、換気、消毒はこまめに行っていきます。また、学習と遊びで部屋を分けています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎回、支援の前後にミーティングを行い申し送りと振り返りを行って職員間で情報共有をしています。また、毎日出勤していない職員にも情報共有ができるよう業務日誌や職員用回覧を使い閲覧できるようにしています。		今後も目標や課題の確認、支援の振り返りを行い、日々の業務や支援の方法を改善していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に、外部の方による外部監査をしています。		引き続き、定期的に外部監査をして頂き、業務改善を積極的にしていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修のお知らせを随時職員に知らせています。研修を受けた際は全体ミーティングを利用し研修報告を行っています。また、スマイル事業所内でも研修としてスマイル他事業所を順番にまわり、実務研修を受けています。		今後も職員のスキルアップの為にも外部研修またはオンライン研修に積極的に参加できる機会を増やしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画を立てる際に保護者様と面談をし、現状と今後の課題についてアセスメントを行っています。その内容をもとに個別支援計画を作成しています。なお今年度もコロナ感染防止の為、引き続き電話や書面にて聞き取りをさせてもらっているケースもあります。		今後も契約時のアセスメントや懇談(モニタリング)などで話し合い、日々の記録などをもとに個別支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の課題や状況、必要に応じて個別と集団を組み合わせた計画の作成を行っています。	はい94% どちらともいえない3% わからない3%	今後も個々の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成します。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画には、支援目標と共に項目や支援内容を記載しています。また、同意の際に口頭での説明を行っています。		支援内容については、わかりやすく明記していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいた支援を行い、毎日のミーティングで個々の活動を話し合って記録し、職員間の共有理解を深め、支援にあたっています。	はい94% いいえ3% 無記入3%	引き続き、個々の課題、目標に沿った支援が行えるよう職員間で話し合っています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	様々な職員が立案し、ミーティング等で話し合い決めていきます。各曜日の活動のプログラムを考え、担当を決め、職員全体で活動内容の工夫をし、改善するようにしています。		直接支援する職員が様々なプログラムを考案し、日々のミーティングで話し合い決めていきます。支援後のミーティングで活動を振り返り、反省点や改善点を話し合い、より良い支援が出来るように継続していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は個別課題や集団活動を中心に、土曜日は調理実習や制作活動、体幹トレーニングなど時間をかけて取り組める支援を行っています。長期休暇ではコロナ感染予防の観点から感染状況を鑑みながら外出をしたり、夏祭りなどを計画し、実施することができました。	はい 88% どちらともいえない 6% わからない 6%	今後も休日、長期休暇時は、平日には時間的に困難な活動や課題を行い、より充実した支援を目指していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	全体の活動は、週単位・月単位でプログラムを作成しています。個々の興味や発達の特性に応じた課題や活動ができるようにしています。		継続して行うプログラムも入れつつ、活動が固定化しないように職員間で意見を出し合い、沢山の体験や経験ができるように取り組んでいます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前にミーティングを行い、職員間で連絡事項、注意事項、役割分担の確認を行っています。		今後も引き続きミーティングを行い、適切な支援を行います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後にミーティングを行っています。その日の利用者一人ひとりについて振り返りを行い、業務日誌等にも記載し、情報の共有を行っています。		引き続き支援終了時にミーティングを行い、職員間で情報共有し、次のより良い支援につなげていけるよう努めます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の振り返りをもとに個々の支援を記録し、支援の検討、改善を継続して行っています。		引き続き支援の検討・改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的な懇談(モニタリング)を実施し、半年に一回支援計画の評価、見直しをしています。		引き続き継続します。モニタリングの実施、半年ごとの評価を行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が参加し、会議報告は職員会議、またはその日のミーティングで報告しています。		引き続き継続し、その内容を職員間で情報共有していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な児童の利用はありません。重症心身障害の児童に関しては担当者会議等で連携し支援しています。		引き続き継続します。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	重症心身障害の児童の医療機関との連携体制は行っていません。		保護者に確認のうえ、必要に応じて連携していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	担当者会議に参加し、他事業所との情報共有や必要に応じて学校との情報共有を行っています。		学校との共有、連携が難しい場合もありますが、可能な限り行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談専門員からの依頼や担当者会議等で、これまでの支援内容の提供を行っています。		スムーズな移行が行えるよう、必要に応じて情報提供を行います。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修に参加したり、助言をいただくこともあります。		今後も研修に参加したり、必要に応じて連携していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在、実施していません。	はい 13% いいえ 33% わからない 47% 無記入 7%	現状、そういった機会を持つことは難しいですが、そういった機会があれば参加できるよう検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	商店街や商店街近隣店舗へ買い物にいたり、商店街の店舗の方と交流が増えるように、毎週水曜日に、商店街の清掃活動を行ったり、ハロウインの時期にスタンプラリーのイベントを実施しました。また、ボランティアさんをお願いし、事業所内でのイベントを企画しています。		今後も地域との交流の場をもてるような活動を企画していきます。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学时、契約時に説明しています。質問があった時にはその都度、説明しています。	はい97% どちらともいえない3%	引き続き、ご理解いただけるようしっかりと説明していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個人懇談を行い、支援計画を基に説明しています。	はい97% どちらともいえない3%	引き続き、ご理解いただけるようしっかりと説明していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは今年度はコロナウイルス感染拡大の影響で中止しています。対象の保護者が未就学になるので放課後等デイサービスの保護者の方は対象外になっています。	はい33% どちらともいえない13% いいえ13% わからない38% 無記入3%	今後も保護者と一緒に考えたり、可能な限り研修のお知らせや交流の場の提供などを行っていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	事業所での様子等で連絡帳に記載しています。また、送迎時に直接、保護者に報告したり、家での様子を尋ねるなど行い、共通理解に努めています。	はい100%	引き続き継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談いただいたことに、共に考え対応しています。必要に応じて、相談専門員への相談や他機関の紹介を行っています。	はい97% どちらともいえない3%	引き続き継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	昨年度はコロナウイルス感染予防の観点から実施していませんでしたが、感染状況を鑑み、対策を十分留意しながら今年度は茶話会を実施しました。	はい43% どちらともいえない23% いいえ7% わからない27% コロナで仕方ないです。	引き続き継続していきます。内容等も検討していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合には原因、改善点について職員間で話し合い、迅速かつ丁寧に対応するように心掛けています。	はい70% どちらともいえない7% わからない23% 特に苦情はないのでわかりません。	基本的には事業所の管理者が対応させていただいております。引き続き、ご理解いただけるようしっかりと説明していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて、口頭だけでなく、連絡帳などの書面による伝達やお知らせを行っています。子どもとの意思疎通については必要に応じて、視覚支援の対応や活動を始める事前に子どもに説明をするといった対応をとっています。	はい87% どちらともいえない10% わからない3% 欠席連絡等アプリ・LINEでやり取り出来たらありがたいです。	引き続き継続していきます。コドモンなどのアプリも今後、活用する予定です。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月「スマイル便り」を発行し、月単位、週単位の活動予定や行事予定、連絡事項、事業所の様子をお知らせしています。また、ホームページ内でブログを掲載し支援内容の紹介をしています。	はい90% どちらともいえない3% わからない7%	引き続き継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイル等、個人情報等の取扱いについては、職員間で他者の目に触れることのないように徹底し、事務所内の施錠を行う等対応しています。	はい80% どちらともいえない7% わからない13%	引き続き継続していきます。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを事業所内に掲示しています。また事業所内研修を行いマニュアルや対応について話し合いを行いました。保護者に対しては、災害時等の対応マニュアルを配布しています。	はい 90% どちらともいえない 3% わからない 7% 事業所内でのコロナ感染時に迅速にお知らせをいただき、とても助かりました。	保護者様に周知していただけるよう年度ごとなど定期的に配布していきます。コロナ等の感染症が事業所内に広がった場合は職員、保護者共にすぐに伝達していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月1回避難訓練を実施しています。(火災・地震・不審者侵入)主に地震発生時の訓練をしています。	はい 87% どちらともいえない 3% わからない 10%	引き続き継続していき、子どもたちの安全に十分留意させていただきながら、緊急時の対応を子どもたちにも周知していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	毎日のミーティングで、職員自身の支援の振り返りを行っています。また、虐待防止委員会を設置して外部へ研修に行ったり、オンライン研修を受け、その内容を職員にミーティングなどの時間を使って共有しています。		可能な限り、研修に参加し職員間で情報共有を行います。虐待が疑われる時には、関係機関と連携し適切な対応をします。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	支援の内容において、やむを得ず身体拘束が必要な場合には、事業所内でしっかりと話し合い保護者にも説明、了解を得ることとしています。		現在、身体拘束は行っていません。今後やむを得ず必要な場合は、しっかりと話し合い、保護者様の了解のもと適切な対応を行います。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に保護者から聞き取りを行い、アレルギーのある児童について全職員に分かりやすいように示しています。専用ファイルを作成し、すぐに対応できるようにしています。		引き続き継続し、安全面に配慮します。今後は、アレルギー対応時に使用するエピペンの使い方の講習なども実施したいと計画しています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員からの報告を受け、ヒヤリハットを作成しています。事業所内会議で全職員に報告し、対策を共有しています。		引き続き継続し、再発防止に努めていきます。